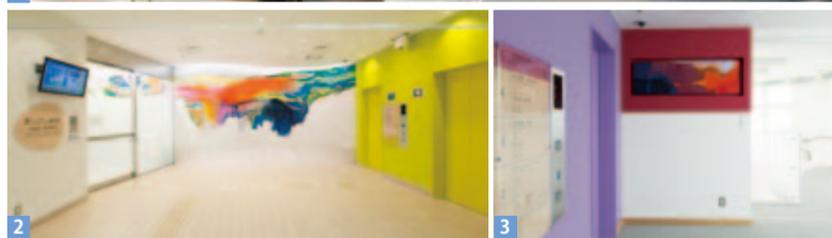




港区立麻布図書館

5年ぶりのリニューアルオープン



- 【建物】
1. 十番稲荷神社の横の道の奥にある。
 2. エントランスフロア。左が『あっぱい麻布』。
 3. 5階は冬の色。絵画まわりは蘇枋色(すほういろ)、エレベーターホールは藤紫。
 4. 麻の葉の幾何学文様が美しい。

間伐材等活用促進協定を結んでいる岐阜県高山市の杉材をふんだんに使用、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の認定を受けた建物。都市と地方が連携して地球温暖化防止をめざす、日本で唯一の取り組みだ。このほか壁面緑化や太陽光発電、LED照明の採用などエコへの配慮が、また、各フロアにはアーティスト、流麻仁果氏らによる春夏秋冬と日本の伝統色をイメージしたアートワークが展開され、トイレや授乳室の案内板には麻布にちなみ、麻の葉文様をデザイン。



【2階 子どものフロア】



5. おはなしコーナーでは幼い子への読み聞かせや紙芝居を。
6. 円形に配置された書架は、迷路のようで楽しそう。
7. 冷蔵庫?ではなく、本を紫外線で殺菌し、ほのかにアロマの香りをつけるブックシャワー。
8. バギーの専用置き場も設置されている。

【3階 総合カウンター・一般図書】



9. 木の素敵なデザインの椅子で、ゆったりと雑誌や新聞が読める。
10. 区内中高生のおすすめ本が推薦文とともに並ぶ。

【4階 一般図書・視聴覚】



11. 4階のテーマカラーは秋。書架は青竹色と深緑。絵画まわりは鬱金色(うこんいろ)。
12. 温かみのある雰囲気の間読コーナー。
13. 杉板に囲まれた視聴コーナーはいいムード。

平成21年3月から改築のために休館していた麻布図書館が、7月1日にリニューアルオープン。心待ちにしていた方も多いのでは。木と緑でデザインした外観はモダンながらも心和む雰囲気、麻布のシンボルがまた一つ増えた。どんな図書館なのか、早速取材に行った。

麻布図書館の歴史は意外と古い。明治44年(1911)、東京市立麻布簡易図書館として南山小学校の敷地内に開設、昭和48年(1973)に現在の敷地に移転・新築された経緯をもつ。敷地面積を増やしてボリュームアップした建物は5階建てで、1階に子育てひろば、乳幼児一時預かりの『あっぱい麻布』を併設する。港区では平成21年より指定管理者制度を導入しており、図書館の運営は民間の事業者であるMINATO CITY TRC GROUPが担当。港区内の図書館の中心的存在である『みなと図書館』(港区芝公園)と連携、収蔵図書は最終的に約16万5000冊、雑誌約160タイトル、CD/DVD約6500タイトルを目標とする(現時点では、図書は約8万4000冊)。

さてこの図書館、特徴としては、まずは子育てへの支援が挙げられる。2階全体が子どものためのフロアで、中央には靴を脱いでのびのびと本を広げられるおはなしコーナーが。子どもとふれあいながら、一緒に絵本を読んだり

して楽しむことができる。ゆったりとした授乳室や、男子トイレには区内の図書館では初のベビーチェアが設置され、“いくメン”パパに配慮があるのもうれしい。

また外国人の居住、在勤者が多い麻布エリアの特色に合わせて、4階の書架には英・韓・中・仏・独・伊・西の外国語図書も用意。現在は約4000冊あり、今後とも充実させていくとのことだ。

地域とともに歩いていく図書館をめざし、今後はさまざまな企画展やイベントを予定。『あっぱい麻布』との連携や、麻布地区の小学校へ出かけての調べる学習や読書促進、図書のテーマ展示、視聴覚室(5階)での映画会、講演会、ミニコンサートetc.。7月だけでも10回催したイベントには大勢の来場者があったという。10月には、サービスを紹介し、本の装備(ビニールコーティング)を体験できる図書館ツアーを実施する。

麻布のまちの多様な人のニーズにこたえてくれそうな図書館に、ぜひ期待したい。

図書館スタッフから

地域の役に立つ、愛される図書館をめざします。ぜひいらして下さい。



●館長 村井美紀さん
皆さんの図書館への期待、地域への関心を強く感じています。それにおこたえできるよう本のラインナップ、企画イベントを計画中です。皆さんの暮らしの中に図書館を! ご来館、お待ちしております。

●総合カウンターのスタッフ
われわれ総勢22名。外国語のできるスタッフも2名います。本のこと、調べものしかた、レファレンスも受け付けています。どうぞ、お気軽におたずねください。



港区六本木5-12-24 電話/03-3585-9225
休館日/毎月第3木曜日・他(来館前に確認を)
開館時間/月~金:午前9時~午後8時 土・日・祝日・12月28日:午前9時~午後5時

港区立図書館 公式ページ
www.lib.city.minato.tokyo.jp/

お話を伺った方: MINATO CITY TRC GROUP 麻布図書館 館長 村井美紀さん
みなと図書館 図書・文化財課 庶務係長 渡邊裕さん



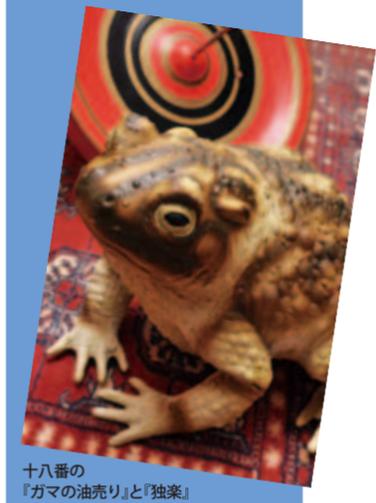
町会から贈与された大道芸旗。

麻布十番

未来へ残したい麻布の声



大道芸研究会6代目会長・大道芸人
あざぶじゅうべえ
麻布十番さん
こと
かやきこうたろう
栢木興太郎さん



十八番の『ガマの油売り』と『独楽』

「さあさあ！御用とお急ぎでない方はゆっくりと聞いておいで見ておいで！見るもタダなら聞くもタダ！」舞台では着物姿で刀を身につけた麻布十兵衛さんの、歯切れのよい台詞が響く。お客さんとの掛け合いは大切なコミュニケーション。大道芸人、麻布十兵衛さんは実演に磨きをかけながら、今日も舞台に立つ。



(右上)ガマの油売りには欠かせない！ここに取り出しましたのは、このガマ！
(左上)観客を魅了する江戸独楽芸。(下)見せ所のひとつである熟練の刀技。

日本の大道芸、民俗芸能を伝承していききたい

サラリーマン時代は、麻布十番に住んでいるだけだった

「いらっしゃい！どうぞ入って！」、大きな声と満面の笑顔で、麻布十兵衛さんこと栢木興太郎さんが我々を迎え入れてくれた。麻布十番で小間物商を営んでいた祖父から数えて3代目の栢木さんは、セカンドライフを「大道芸人 麻布十兵衛」として過ごしている。昭和21年(1946)に生まれた当時、自宅は戦災で焼失、中学3年生までは銀座で育った。その後、祖父、父が育った麻布十番へ戻り、今に至る。「父と娘は東町小学校に通ったのに、私だけ地元のはずなのに、地元ではなくて。」、苦笑いをする栢木さんの人生は、大道芸とはまったく無縁であった。

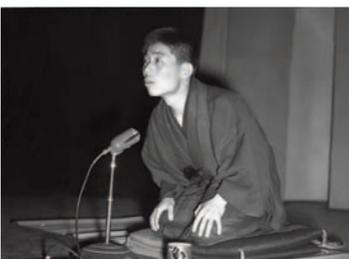
東京大学在学中は大学紛争があった時代、栢木さんは体育会の剣道部に所属、三段の腕前だ。50名程の部員と共に練習に明け暮れ、団体戦では中堅を務めた。卒業後のサラリーマン時代は日本の高度成長期真っ只中で、シンガポールとアラブ首長国連邦に赴任し、海洋開発や通信事業に携わってきた。出張も多く、夜遅くまで働き、企業間の付き合いが大半で、住んでいる町への関心もほとんど無かった。



(左上)旧家での最後の正月。現在は同じ場所でマンション住みだ。
(左下)海外駐在員として赴任したアラブ首長国連邦での写真。企業戦士として働きつづめの毎日だった。
(右)朝晩、竹刀を振っていた大学生時代。網代公園にて。

セカンドライフは『大道芸』と速攻で決めた

これほどのキャリアを積み、定年後、何故大道芸への道を選んだのか。夫人から「定年後の趣味を見つけたら？ゴルフのようなお金のかかるもの以外に何かないの？」と言われていた。激動のサラリーマン時代は『趣味は仕事』と言い切ってきたものの、これといった何かを見つけることができなかった。ふと閃いたのが、以前に鎌倉シネマワールドで遭遇した『ガマの油売りのシーン』だった。



三田高校落語同好会出身で落語家になった後輩も。

いつかやってみたいと、その気持ちを突然思い出したという。

そもそも人前で話すことが好きだったので、三田高校時代は落語研究会に所属。「子どもの頃から物おじしない性格でしたね。サラリーマン経験で役に立ったのは決断と行動の早さかな。」と、栢木さんは笑みを浮かべる。思い立ったら吉、インターネットを駆使して大道芸研究会のことを知り、即座に入門、自己鍛錬を積み重ね、今日に至っている。

「最初は『バナナの叩き売り』からやってみました。しかし先輩芸者から剣道経験があり、声質も合っていると、『ガマの油売り』を勧められました。」

剣道で培った粘り強さが功を奏し、シニアライフで花開いたのである。大道芸という別のかたちで剣を手にするとは、その時には考えもしなかっただろう。

大道芸人 麻布十兵衛デビュー！

人前で芸が披露できるまで3年間を新しい趣味に没頭し、今では10以上の演目を演じられるようになった。十八番の『ガマの油売り』口上、『南京玉すだれ』、『独楽芸』などバラエティ豊かな大道芸を身に付け、芸名も代々家族で住む愛着のある地にちなみ、「麻布十兵衛」とした。現在は大道芸研究会6代目会長の肩書きも持ち、活躍は港区など国内から海外まで、依頼があれば赴いて大道芸を披露する。今年の春はベトナムで開催された日本ベトナム文化交流フェスティバルにも参加した。

昔のお祭りを思い出して懐かしくなった、面白かった、そう言ってもらえることに喜びを感じ、やりがいに満たされる。この趣味を始めてから地域との繋がりがより深まった。福祉施設でのボランティアから始まり、口コミで新年会やお祭りで芸を披露するだけではなく、今では町内会の役員まで務めている。

交流の輪が広がり、新たな人脈ができていくことが思わぬ副産物となった。

グローバルな麻布からバイリンガルで大道芸の普及にまい進していきたい

「会社員時代は生活という視点で、家庭内にしか目を向けていませんでした。しかし大道芸を始めてからは地域に関わるようになりまして、盆踊りではDJやMCもこなします。」という栢木さんは周囲が認める「国際部長」だ。海外経験を活かして英語を交え、近隣に住む外国人へ行事の参加も促す。「『Why don't you join with us?』日本語の単語ひとつでも分ってもらえれば、全体の理解もぐんと深まります。」

港区は外国人も多く、日本の伝統芸能に少しでも触れ楽しんでもらえたらと、栢木さんの奔走は続く。麻布十番納涼まつりでは『ガマの油売り』を『International Gama Oil Sale』として英語を交えて行った。

今後の目標はバイリンガルとして日本の大道芸、民俗芸能を伝承していききたいという。麻布地区の特性ともいえる多民族の共生、その中で経験を活かし、日本の良いところを広めていきたい。新しく見つけた趣味が生活の一部となり、まさしくセカンドライフとしてこれからの人生と核となる。栢木さん、いや麻布十兵衛さんのこれからの活躍にエールを送りたい。



江戸独楽芸(江東区での舞台)。回る独楽も回す技術も日本の伝統美。

麻布十兵衛さんのホームページ <http://www1.odn.ne.jp/jyubei/>

(取材・文/小倉里枝子、高柳由紀子)



しもだかげき 志茂田景樹さん
小説家、絵本作家、タレント。
『黄色い牙』で直木賞を受賞。15年前から
絵本の読み聞かせを始め、教育講演も合わ
せると、1年に100回程行っている。
http://www.kageki.jp/ で志茂田さんの読み聞かせが
視聴できます。

想像と創造の合間に 読者の顔を

作家

子どもに生きていく力を

KIDS!

親子で
読んでみよう

ハローワーク

今回のテーマは作家です。港区立六本木中学校2年生3名が、麻布地区に事務所を構える志茂田景樹さんにお話を伺いました。

◎小説家としてのスタートは？

昔は文学青年や作家志望が大勢いました。私は職業を転々とし、年齢のわりに人生経験が豊富だったので、実体験をもとに小説を書けると思いました。28歳の時、初めて書いた小説を新人賞に応募したら、二次選考を通過したのですが、『やっそこ探偵』で小説現代新人賞を受賞するまで7年かかりました。これでもようやく執筆で生計を立てられるようになりました。

◎本を1冊書き上げるには？

頭の中にいくつかの引き出しを作り、それぞれに思いついた題材を入れ、資料やデータを読み込んでストーリーを発酵させます。この助走期間は何年にも及ぶこともありますが、一旦書き始めると、長編小説でも4ヶ月程で仕上げます。

◎小説の題材はどこから？

物事を注意深く観察していれば、題材はいくらでもあります。時代小説の場合、歴史的資料を読むと、疑問が沢山湧いてきます。隠された事実があるのでは、と自分で謎を作り、その謎解きを書き上げていきます。

◎作家として心がけていることは？

数ある題材や材料をどう咀嚼して自分のものにするか、というのが一番大切です。独りよがりな創作に走らず、読者が感動し楽しんでくれるかを、常に意識しています。

◎服装や髪がカラフルなのはなぜ？？

人間は真白な心で生まれてきても、知恵や知識を身につけると、嫉妬や虚栄、傲慢など要らない札を心に貼り付けてしまいがちです。そんな心が重くなった自分を解放したいと思い、それが服装に表れたのです。周りを気にせず、着たい物を着て、髪もカラフルな方が心地よいのです。

絵本には自ら絵を描くことも。
小説、随筆、一般書、歴史小説など執筆した
書籍は数百冊。筆が早い作家の一人。



中学生に読んでほしいものは『蟹工船』『津軽』、石川淳『紫苑物語』など。
「推薦本だけでなく、自分で探しあてる努力も大切」と。



私達も『キリンがくる日』を読んで頂きました。

(取材・文 / 岩淵二千乃(六本木中学校2年生)、金澤りん(六本木中学校2年生)、熊坂瑠家(六本木中学校2年生) 取材サポート / 出石供子)

地域社会
の
ゆくえ

16

麻布地域の野菜づくりスクール&レンタル農園 「元麻布農園」でプロの農家と繋がる麻布地域

麻布地域は「多様」な地域です。六本木に行けば最先端のIT企業が軒を並べる一方で、元麻布には地域の人が野菜作りに勤しむ野菜づくりスクール&レンタル農園もあります。

今回は、麻布十番から坂を上った元麻布ヒルズの近くにある、「元麻布農園」取材しました。土地のレンタルのみに留まらず、農家との強い接点も持ちながら農業に触れられるこの「農園」は、今や「空き待ち」の列ができる人気スポットになっています。



元麻布農園の様子

「元麻布農園」

この農園では子ども向けのスクールとして、土作り段階から「野菜作り」の一連の流れを体験できる講座などが開かれています。

また、運営会社から一般の人が農地を借りる「レンタル農園」もあります。どちらも、新潟などで農業を生業としている「プロの農家」の方から直接アドバイスをもらえる点が特徴です。例えば、「トマトがガラスに食べられてしまうがどうしたら良いのか・・・。」そんな時、利用者は「プロの農家」に対策を聞く事ができます。新潟をはじめとする地方の農家が「付いてくる」のがこの農園の特徴です。

「そういうのが麻布らしいですね。」と同農園を運営する会社のスタッフの若林さん。都心の生活と農園が併存する麻布地域ならではの光景です。

また、同農園スタッフの瀬戸さんによれば、この農園は麻布という「東京のど真ん中」と地方をつ



なく試みでもあるそうです。元麻布農園を通して、文化的・経済的につながる事で、都心だけでなく地方も継続的に発展する仕掛けを目指しているとのことでした。

人気!の野菜

野菜は何が人気なのか聞いてみたところ「夏はトマト、なす、ピーマン、きゅうりですね。冬は大根、人参、春菊などお鍋の具材になるような野菜が多いです。」とのことでした。ピーマンは、お母さんが子どもが食べられるようにしたくて選ぶケースが多いとのことでした。



「土は故郷になる」

場所柄、転勤や海外に赴任される方が多いが、麻布を離れてからも訪ねてきてくれる人が多いのだそうです。また、スクールを卒業した子どもたちも見に来るのだとか。

若林さんはこの様子を見て「土は故郷になるのかもしれない。」と話してくれました。都心でありながら「故郷」になり得る街として、麻布地域は益々魅力を高めていきそうです。



元麻布農園の瀬戸大輔さんと若林智美さん



元麻布農園の現在

元麻布農園の利用者は現在70～80人。それぞれ自分の「畝」で各々の生活に合わせて野菜を育てています。

農園を借りているのは、ほとんどが麻布から歩いたり自転車で行かれる範囲の方。結婚式に参列する前にふらりとスーツで来たり、子どもがサッカー教室に行った帰りにユニフォームで来たりするようです。



ホンジュラス共和国
 面積： 112,492平方キロメートル(日本の約3分の1弱)
 人口： 約810万人(2013年、世銀)
 首都： テグシガルパ
 言語： スペイン語
 宗教： 伝統的にカトリック(信教の自由を憲法上保障)
 政体： 立憲共和制
 元首： フアン・オルランド・エルナンデス・アルバラード大統領
 (任期4年、再選禁止)
 議会： 一院制(128名、任期4年)

外務省ホームページ
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/honduras/index.html>より

—— ホンジュラス共和国

取材協力/ホンジュラス共和国大使館

マルレーネ・ビジェラ・タルボット特命全権大使



コパン遺跡はユネスコの世界遺産となっており、JICA(国際協力機構)が保存の協力を行った。A.D.400年頃から800年頃に栄えたマヤ文明の遺跡と言われ、左のポスターにあるのがロサリラ神殿、他に神聖文字で作られた階段や球戯場など見どころがたくさんある。

大使を訪ねて 28

麻布の"世界"から

Honduras

コーヒーにかかる中南米の国 ホンジュラス

コーヒー豆の生産量が年々増加の一途をたどっている中南米の中部に位置する国ホンジュラス。西麻布にある大使館にお邪魔して、特命全権大使のマルレーネ・ビジェラ・タルボット氏に、ご自身の日本との関わりと母国ホンジュラスと日本との交流促進について、熱い思いを語っていただきました。

日本との関わり

大使の日本との関わりは1977年までに遡り、ミスインターナショナルの母国代表として初来日されました。歌舞伎座や日本橋の百貨店での思い出を懐かしくお話しされていました。

大使の外交官としての経歴はワシントンから始まり、台湾に8年駐在されたあと、日本に着任されました。(なお、現在も日本にいながらフィリピンやタイの大使を兼任されています。)

「赴任先の台北は歴史的に日本の影響を受けた都市であり、台湾のことを知るために日本や隣国である韓国・中国のことまで広く学びました。台湾で事前に学んでいたのも、日本に来ることは苦にはなりませんでした。」と話されました。

ご自身の信条として「国を理解するには、背景にある文化や歴史を知らないと本当の意味でその国を理解したことにはなりません。これまで(スペインに影響を受けた母国や前任地のアメリカなど)の西洋的な思考から対極にある東洋的な思考を理解するため2年間夜学に通い、午後7時から10時までの授業を取り、自宅に戻るのが午後11時というハードな生活を2年間続け、くじけそうになりましたが、やり抜くことができました。」と感慨深そうにお話しされました。これが今日の日本での大使のバックボーンとして活かしていることは間違いありません。

再来日しての日本の印象は2010年9月に行なわれた天皇陛下への信任状捧呈式の際に馬車で皇居に入ることができたこと。そして、子どもでも自由に地下鉄を利用していたことだそうです。

コーヒーにかかる大使の熱い思い

ホンジュラスは現在コーヒーの輸出に力を入れており、もちろん日本にも輸入されています。とてもデリケートな食物で、周りに植えてあるもの、たとえばカカオがあったらカカオの香りに影響されるそうです。

ホンジュラスは10万人がコーヒー産業に関わっていて、経済・社会に及ぼす影響がとても大きいそうです。

数百人規模の生産者が出品する全国規模の品評会で、入賞した20人が生産したスペシャルティコーヒーをオークションで落札するのは、実は日本人が9割なのだそうです。

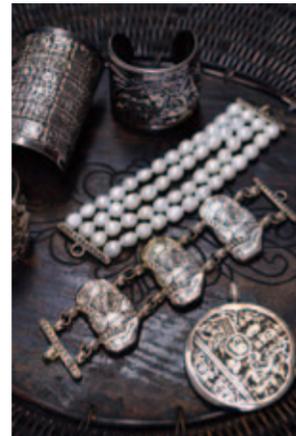
「コーヒー愛好家の方だけでなく、一般の消費者の方にこのコーヒーはメイドインホンジュラスなのだ、もっと知って欲しいのです。また、輸出先それぞれの消費者の嗜好(香りやコク・酸味など)にあわせる取り組みもなされています。」

大使は日本への輸出量の増加だけではなく、コーヒーの産地としてホンジュラスの知名度をあげることを強く意識されていました。

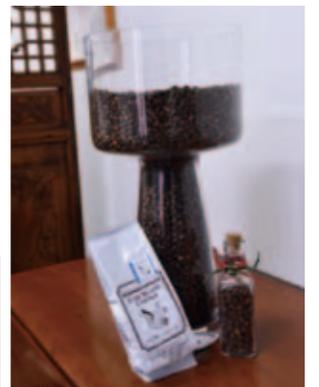
ホンジュラスのコーヒーは、豊かな自然のなかで栽培されていて、近年品質の向上がめざましい優良なスペシャルティコーヒーの生産地として注目されているとのことで、上品な香りとバランスのとれた味わいのあるコーヒーが楽しめます。

港区民との交流に期待

今回特に皆さんにお伝えしたいこととして大使はこう語られました。



コパン遺跡で発掘された装飾品のレプリカです。高度な文明がうかがえます。



やはり押しはコーヒー。ホンジュラスの気候は朝晩の気温差があり、コーヒーの栽培に適しているそうです。



ホンジュラスにもけん玉がありますが、日本のものとは異なり"肩"がありません。お酒も気になります。

「これからはホンジュラスと日本との間で国同士や政府間だけではなく、人と人の草の根の交流を促進していきたいと考えています。ホンジュラスでは日本のことはよく知られていますが、逆に日本でもホンジュラスがどんな国かもっとたくさんの方に知ってもらいたいと思います。サッカーなど共通のことを糸口としてより大きな交友関係を築くことができたらと考えています。大使館と各行政機関は調整に時間がかかったりするので、港区民の方と学校などを利用して何かお互いをよく知ることが出来ないかと思っています。」

これからの大使の夢

お父様の影響を受け法律を勉強し弁護士の資格を取ったのち、外務省に入省し大使館勤務となり32年経って、自らもこの仕事为天職といえる大使。(インタビューの当日はお亡くなりになった敬愛するお父様の誕生日とのことでした。) 今後については、外交の世界でいっそう活躍していきたいこと、大学など教育の場にも関わりを持ち、自分が学んできたことを教えていきたいと夢を語られました。

少しサッカーのことも

インタビューに伺った日は、母国ホンジュラスも出場したサッカーワールドカップの準決勝(ブラジル対ドイツ戦)の直後であり、ブラジルの敗戦はとても衝撃的で、アルゼンチンにはラテンアメリカを代表して是非良い試合をして欲しいとお話されていました。

ワールドカップ期間中は全試合熱烈に応援したため、お疲れ気味とのことでしたが、サッカーを通して出来る一体感が大好きとのことでした。(取材日:7月11日)

インタビューに伺ったスタッフ一同、このように熱い思いを語る大使と母国ホンジュラスを応援したくなりました。



ミスインターナショナルの母国代表として来日された時のスナップ写真。お着物がお似合いですね。最近、花火大会鑑賞用に浴衣を新調されたそうです。





東京オリンピックを境に

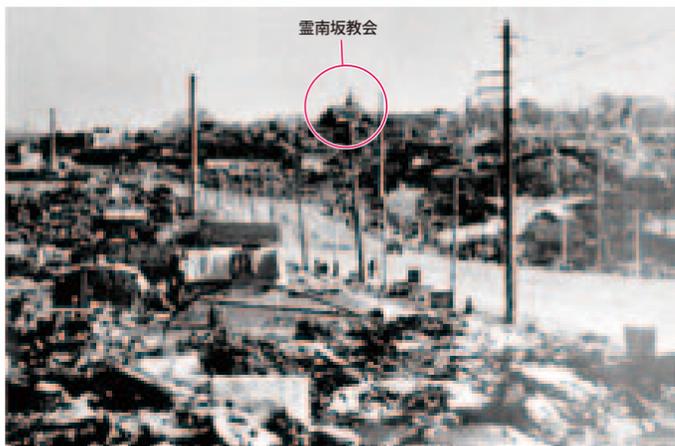
市三坂は、現在の六本木通り、六本木3丁目から六本木4丁目の境界を走る坂で、頭上を首都高速3号渋谷線の高架が通っている。旧町名では、坂上を旧麻布三河台町、中腹右が旧麻布市兵衛町、坂下左に旧麻布今井町と3つの町を貫く格好の坂になる。

明治20年代になってから作られた比較的新しい坂(通り)だが、東京オリンピックを境に道路が拡張され、頭上には高速道路が敷設されたため、その前後では景観が全く異なる。

“比較的新しくできた”ことが却って大きな変化をもたらした、とも言えるのかも知れない。前号扱った『暗闇坂』とはその趣も全く逆で、今と昔の写真を見比べると、その変わりように些かの驚きさえおぼえる。

激動を体現

市三坂の表情を今と昔で比べて見よう。



昭和20年ごろ



昭和36年 出典:みなと写真散歩



平成21年

昭和20年ごろ、戦後直後で焼け野原だった。遠く高台の上(写真上部中央やや右)に霊南坂教会が見える。昭和36年の写真では、まちは復興し、都電の線路が見える。やはり遠くに霊南坂教会が見える。現在は首都高速道路に隠れ、霊南坂教会は、この位置からは見えない。

麻布 未来写真館

古くて新しい坂

市三坂

戦後直後から20年近くは坂自体の表情は大きくは変わらないが、現在との比較はもはや比較とは言えない。写真だけを見るなら、同じ坂の写真とは思えない。それでも、ほぼ同じ位置からの撮影なのだ。まさに“昭和の激動”を体現している貴重な坂と言えるだろう。

今度は坂を見上げる形で、谷町JCTから六本木・渋谷方面へ視点を移す。



昭和40年 出典:みなと写真散歩



平成21年

都電(路面電車)の廃止が決定された昭和42年に首都高速道路(谷町JCT～渋谷)が開通し、同年12月に都電6系統(霞町線)は廃止された。

首都高の高架がなくなれば、坂自体の表情はその面影を残すかもしれない、とも感じるが、やはり別物感は拭えない。わずか40年足らずで、町から都市へと進化したのである。

今では高速道路の陰に埋もれるようにひっそりと佇む市三坂。町としての面影が薄れた一抹の寂しさもあるが、古くて新しい、新しく古い、多くのロマンを内に秘めた麻布きっての名所と言えるのではないだろうか。

市三坂の“名づけ親”。旧町名の由来とは？

市三坂の名前の由来は、市兵衛町の“市”、三河台町の“三”と両町名の頭文字を取ったもの。エピソード満載の予感が漂う町名を、少し掘り下げてみよう。

いちべ えちよう 市兵衛町

市兵衛町は元禄8年(1695)に土地の名主の名前をとったことが由来とされる。現在の麻布地区北端の台地一帯(現・六本木三丁目)で、当時から複雑な町域を持っており1丁目と2丁目と構成されるが、各々違う表情を持っている。

みかわだいまち 三河台町

三河台町は江戸時代に松平三河守(松平忠直・徳川家康の次男・越前宰相 結城秀康の嫡子。大阪夏の陣に於いて真田幸村を打ち取る武勲を挙げている。)の下屋敷があり、「三河台」と俗称されていたことが由来とされている。

「麻布未来写真館」とは

港区麻布地区総合支所では、平成21年度から区民や企業等と協働し、麻布地区の昔の写真などを収集するとともに、定点写真を撮影し、麻布のまちの変化を保存する取組として「麻布未来写真館」事業を運営しています。

当事業は、麻布地区の資料収集・保存を通じて、住民の方々にとって身近な歴史・文化的な資料価値を持つ写真を保全・継承するとともに、より一層の活用を目的としています。同時に、「まち」の歴史や文化をより多くの方々に知っていただき、まちへの愛着を深めていただく一助となることを目指しています。

「麻布未来写真館」では、古い写真を探しています。

未来に向けて、残し、伝えていくべきとお感じになる「麻布地区の古い写真」がありましたら、港区麻布地区総合支所までお寄せください。詳細につきましては、「協働推進課地区政策担当」までお問合せください。
お問合せ 電話:03-5114-8812

明治23年(1890)に日本を愛したふたりの英国人が、前後して同じ「麻布の家」(ザ・AZABU Vol.28)に住んでいた。ひとり、「渡る世界は鬼はなし」の格言を自分の印判として使い、明治24年(1891)に「Japonica」を出版した詩人、ジャーナリストのエドウィン・アーノルド卿(Sir Edwin Arnold 1832-1904)。

もうひとり、友人達が墓の碑文にローマの格言「私のすべては死なない。私の大部分は葬儀の神を逃るだろう」の前段「NON OMNIS MORIAR」を刻んでその死を悼んだ元英国陸軍工兵少将 ヘンリー・スペンサー・パーマー(Henry Spenser Palmer 1838-1893)。横浜の近代水道建設の父と呼ばれ、横浜港築港に関わり、内務省技術顧問、ジャーナリスト、天文学者であった。

日本国政府はふたりにそれぞれの貢献をたたえて勲三等旭日章を贈っている。

その人物像と経緯、さらに同じ年に「麻布の家」(旧麻布今井町41番)に住んでいた謎に迫りたい。

麻布の家

② 日本を愛した二人の英国人

麻布の軌跡

E・アーノルド卿

明治27年(1904) 3月25日付ニューヨークタイムズ紙が、前日に「アジアの光」の著者であるアーノルド卿が72年の生涯を英国で終えたと報じた。

イギリスに生まれ、オックスフォード大学に入り、文学的才能を発揮し、詩「ベルシャザールの祝宴」でNewdigate賞を受賞し、20歳で卒業した。インド、Poona Collegeの校長になり、帰国後に「ロンドン・ディリー・テレグラフ」の記者、編集長になっている。英国では詩人として有名である。日本にも2回旅をしていて、鎌倉、日光、富士山、京都、長崎へ行っている。英国領インド帝国から爵位を授けられている。また仏教に造詣が深く詩「アジアの光」を書いて名声を博したほか多くの著書もある。

初婚はイギリス夫人、再婚は英国美術館でルネッサンスの画家ペルジーノの絵を写生しているアメリカ人の若い女性を見初め結婚をしたが、両夫人を亡くしている。「Japonica」を書いて日本に貢献した旨で明治25年(1892)に勲三等旭日章の受章のため再来日、その折に37歳差の黒川たま(1869-1962)と3度目の結婚をした。たまは夫に献身的につき、英国でアーノルド卿夫人と呼ばれ、その美貌と英語の能力を含めた知性と人徳の高さで称賛された。

アーノルド卿の人生は、その結婚を含めて生涯詩人としての

感性、直感力が豊かで、また「Japonica」などの作品からも高い知性を持っていたと言える。



アーノルド像

出典：サー・E・アーノルド著 岡部昌幸訳
アーノルド ヤポニカ 雄松堂出版所収



アーノルド卿の印。
「渡る世界は鬼はなし」と彫られている。

H・S・パーマー

明治26年(1893) 2月18日付The Japan Weekly Mailがパーマー元陸軍工兵少将の2月10日の逝去と16日の葬儀の様を伝えている。

東インドに生まれ、英国王立陸軍士官学校を卒業、工兵中尉に任官し、カナダに派遣され測量、建設などに従事した。ニュージーランドへ金星の太陽面経過天文観測のために派遣。後に香港に5年駐在、天文台の計画案の作成をした。明治12年(1879)初来日。駐香港副領事安藤太郎(1846-1924)を通じて日本に天文台の建設を建白し、これが麻布の東京天文台に繋がった。この頃よりジャーナリストとして、英国の新聞などに日本の実情を発信している。帰英途中の横浜で、明治16年(1883)横浜居留地から要望のあった飲料水用の水道建設に駐日英国公使パークスと井上馨外務卿などから参加を求められた。水源地の探査、水路敷設などを調べ、水道工事報告書を作成し、井戸によらない近代



日本近代水道最古の水道管。
横浜市中区の野毛山三丁目公園にある。



H・S・パーマー胸像
肖像彫刻：横浜市立野毛山動物園所蔵

水道施設の提案をした。明治18年(1885)相模川を水源とする水道工事の監督工師として着任、着工、大佐になる。明治20年(1887)完成を見る。退役陸軍工兵少将となる。この横浜水道工事を完成した功績で明治20年勲三等旭日章を受章している。次の横浜市築港計画案について内務省土木局内のオランダ人技師らと地元の横浜商工会議所の推薦のパーマーとが競合し、明治21年(1888)パーマー案が採用され内務省土木局名誉顧問工師に採用される。しかし、築港使用のセメントの品質などをめぐり官界、政界、コンクリート製造業界の確執に巻き込まれ、そのさなかに麻布の家で生涯を終えた。雅やかな財藤うた(1873-1922)の間に一女がいた。

理数の才能に恵まれ、実務に長け、ユーモアがあり、多くの友に恵まれた人であった。その友人たちが青山墓地にある墓石に彼の無念さを刻んでくれている。

麻布の家の謎

明治22年(1889) 11月横浜に到着したアーノルド卿は、英国人フランシス・ブリンクリー (Francis Brinkley 1841-1912。The Japan Weekly Mail 社主)が住んだ田町5-16の洋館の家に居住登録をしている。ところが、アーノルド卿は、この国の暮らし方を、そして近くで見たいと日本家屋を望み、新聞を通して家を探し、パーマーが住んで居住登録している家主、麻生武平の日本家屋(麻布の家・現六本木2-1)に明治23年初めにたどり着いている。

しかし、明治23年度(1890)のジャパン・ディレクトリー (幕末明治在日外国人・機関名鑑)を見ると、アーノルド卿が「芝田町5-16」、パーマーが「麻布今井町41」に居住登録していた。にもかかわらず、「ジャポニカ」によれば明治23年にアーノルド卿は「麻布の家」に、またその手紙などから判断して、7ヶ月ほど住んでいる。

この謎を解いてくれたのが、明治23年1月18日付The Japan Weekly Mailで、パーマーは横浜港築港資材調査のために英国へ向けて乗船した記録がある。そして、同年5月25日に帰国している。パーマーはこの出張のために家を明け渡してくれたのである。

和魂洋才で表される明治時代、和魂、つまり日本の文化を世界に紹介してくれたアーノルド卿、洋才、西欧の近代技術を日本に導いてくれたパーマー元英国陸軍工兵少将に感謝をしたい。明治23年に日本を愛したふたりの英国人たちがロバート・ブルームの描いた「麻布の家」に居たことは麻布の軌跡の奥深さを感じさせている。



H・S・パーマーの墓：東京都青山霊園



「Japonica」の原本
(順子ロスウェルさん所蔵)

参考文献／サー・E・アーノルド著 アーノルド ヤポニカ 雄松堂出版 岡部 昌幸訳
Sir Edwin Arnold Japonica Scribner's Magazine
December, 1890. January, 1891. February, 1891. March, 1891.
New York Times 25 03 1904
Wright Brooks Interpreter of Buddhism to the West, Sir Edwin Arnold
New York: Bookman Associates 1957
Letters Arnold to Blum 1890 5letters New York Public Library

樋口 次郎著
河鍋 楠美著
大野 順子 ロスウェル著
梅溪 昇編
横浜開港資料館監修
立脇 和夫監修

祖父 パーマー 有隣新書
暁斎の弟子 ブリンクリー 暁斎第10号
ロバート・ブルーム junkoonorothwell.com/RobertBlum.pdf
明治期外国人叙勲史料集成 第二巻 思文閣出版
The Japan Weekly Mail Edition Synapse Reprint Series I 1870-1899, Part 5
Yokohama Archives of History
ジャパン・ディレクトリー 幕末・明治在日外国人・機関名鑑
第10巻 第11巻 第12巻 第13巻 第14巻 第15巻 ゆまに書房

河鍋暁斎記念美術館、及び順子 ロスウェルさんに資料等をご教授いただきお礼申し上げます。

「麻布アートフェスタ」を楽しもう！

子育て座談会 ～みんなの子育てはどう？～

麻布地区総合支所では、アート・デザインを通じて地域のつながりを深めることを目的に「麻布アートフェスタ」を開催しています。

第一弾として、「麻布のまちをアートでつなぐキャラクター」をテーマに、麻布アートフェスタキャラクター募集を行いました。今回優秀賞に輝いた作品は麻布アートフェスタのキャラクターとして、麻布アートフェスタのオリジナルグッズなどに登場し、活躍してもらいます。10月中旬頃(予定)から、応募作品を麻布地区総合支所1階ロビーに展示予定です。ぜひ、ご覧ください。



キャラクター「アザホン」



「セミの羽化」

ワークショップでは、7月には有栖川宮記念公園にて「感動！セミの羽化」を開催し、身近な自然の中にある神秘的なアートである羽化の瞬間を観察しました。

9月以降も、様々なワークショップを企画しています。

●10月「変身でアート～いつもと違う私で、六本木ハロウィンをパレードしよう～」
素敵な生地やリボンを使って簡単な帽子や衣装を自分流に作って身につけ、いつもと違う自分に変身しよう。また、その装いで「ROPPONGI HALLOWEEN」のパレードに参加します。

※他にもアートを通じた様々なイベントを企画中です。

※内容は変更になる場合があります。

詳細は「広報みなと」、麻布アートフェスタ広報紙「ア！ザブザブ 麻布アートフェスタ通信」、区のホームページ等でお知らせします。お見逃しなく！

お問合せ／麻布地区総合支所管理課管理係 電話／03-5114-8811

育児で気になることについて、参加者と講師(心理士)が気軽に話しなが
ら、みんなできごとのできる座談会です。

対象 麻布地区在住の区民で、3歳未満のお子様の保護者

お問合せ／麻布地区総合支所 区民課 保健福祉係 保健師

住所／港区六本木5-16-45 電話／03-5114-8822

日時	平成26年11月25日(火)午後1時30分～3時
テーマ	「育児分担について」
申込み	平成26年11月4(火)から11月14日(金)電話申し込み
場 所	麻布区民センター
募集人数	10組(先着順)＊保育対象は4ヶ月児から3歳児未満まで
講 師	元NHKラジオ「子どもの心相談」アドバイザー 内田 良子 先生
費用	無料



平成26年度コミュニティ助成事業の実績

(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業による宝くじの助成金を受け、南麻布富士見町会がお神輿を製作しました。



コミュニティ助成事業は、コミュニティ活動の促進と健全な発展を図るとともに、宝くじの社会貢献広報を目的としています。



「六本木安全安心憲章」に賛同いただける店舗・事業所等を募集しています ～賑わい綺麗なまち六本木を目指して～

平成25年7月23日に、六本木地区安全安心まちづくり推進会議(以下、推進会議)において「六本木安全安心憲章」(以下、憲章)が制定されました。

港区では、この憲章をより多くの店舗や事業所等のみなさまに周知する一環として、港区「六本木安全安心憲章」推奨事業所等認証制度を実施しています。



●募集概要

対象 六本木地区(六本木3～7丁目及び赤坂9丁目七番)に主として立地または活動する店舗・事業所等。

●申込方法

1. 憲章の趣旨を理解したうえで、賛同書に必要事項を記入して、郵送または窓口持参により港区麻布地区総合支所協働推進課に提出してください。
2. 提出された店舗・事業所等は、「賛同事業所等」として店舗・事業所等の名称を港区公式ホームページや地域情報紙等に掲載します。
3. 「賛同事業所等」には、推奨事業所等として「認証」を受けるための申請書をお送りします。
4. 送付された申請書に基づき、活動を調査した上で、審査会等により主体的かつ積極的に地域で協働して活動を行っている店舗・事業所等を「認証」します。なお、「認証」した店舗・事業所等には、認証状と認証ステッカーを交付するとともに、店舗・事業所等の名称と活動内容等を港区公式ホームページや地域情報紙等により情報発信していきます。

お問合せ／麻布地区総合支所協働推進課協働推進係 電話／03-5114-8802

「六本木安全安心憲章」シンボルマークの発表

憲章を広く知っていただくため、シンボルマークのデザインを募集した結果、このたび以下のシンボルマークが決定いたしました。



六本木安全安心憲章
賑わい綺麗なまち六本木を目指して

今後は、多くの方に憲章を浸透していただけるようあらゆる場面で活躍していきます。ご注目ください。

▼港区「六本木安全安心憲章」推奨事業所等認証制度において、六本木安全安心憲章に賛同いただいた店舗・事業所等はこちらです。

●賛同事業所等一覧(平成26年9月1日現在、311事業所等)

- 【アラビア数字、アルファベット順】
- 395 SPICE TOKYO
- 45R
- 55ステーション 六本木ヒルズ
- AGAVE
- Ant'n Bee
- AUX SIX Arbres (オーシザープル)
- AYANO'S BAR
- BACKDOOR
- BAR BLU
- BAR Keys
- Bar Maria with Nail
- BAR Senza Cravatta
- bar ZUKKO
- Bar・(バー)
- Book Express 六本木ヒルズ店
- (株)barbarossa
- CAFE'N'BAR KINGSTONE
- CAIPIRIUHA BAR
- CARESE 東京ミッドタウン店
- Chowder's SOUP & DELI
- Cortile roppongi studio
- コルティエール六本木スタジオ
- D
- Dem...
- DEMODE六本木
- (際コーポレーション(株))
- DIVA
- DIYA (ダイヤ)
- Dolce
- e. a. gran
- ENVY (エンビー)
- ESPRIT LOUNGE
- FETTI 六本木
- GL
- Good Times
- Grill Dmi Kosugi
- アトラスアンドカンパニー (株)
- grüßen (グリューゼン)
- HIROFU 六本木ヒルズ店
- Hiro's Bar
- HOLE SHOT
- ISSA 六本木ヒルズ
- James monroe
- JAZZ LIVE & BAR SOFTWIND
- MANGO 六本木倶楽部
- KAMABOKO
- KACO forte
- KeY
- LEGO click brick 六本木ヒルズ店
- La Chandelle
- leckermaul (アッシュオールカフェ)
- Lefty (レフティ)
- MANGO (マンゴ)
- Mind Leaf Mojito Bar
- MOTOWN HOUSE
- My Scotch (マイスコッチ)
- NEW 88 STREET BAR
- NINE
- noble
- ODEON TOKYO
- OPP (オブ)
- Paraiso
- PASTICCERIA ISOO
- PRIVATE DINING TOMORU (点)
- RESTAURANT RICK
- SERENDIPITY BAR
- SCORES
- SILIN火龍園
- Studio R
- TABIYA
- TOUCH
- TUTAYA TOKYO ROPPONGI
- ULTRA CLUB
- USHIO
- VAWSON 六本木ヒルズ手店
- VERTIGO
- VIVIENNETAM六本木ヒルズ店
- (有)WVF企画(寄席坂)
- オーラパン・アジール
- Wine Bar & 六本木ワイン倶楽部
- WACOAL DIA
- WHAT'S UP ?
- Wind
- WIND (株)三峰
- YAKITORI 燃本店
- ZERO BAR
- 【以下、五十音順】
- (株)アーバンホームズ
- アウトスクエア
- 青木ビル
- (株)麻布青野緑本舗
- (株)麻布宣伝計画
- 麻布 久徳
- アドベンチャー
- アトリエニキキキ
- アフリカンホームタッチ
- (株)天城
- 株式会社 アンリプリマジャパン
- 居酒屋 竹やん
- 居酒屋革命 酔っ手羽 六本木店
- 居酒屋玉ちゃん
- 出雲大社東京分祠
- 板前牛肉店 Wa-Gyu
- イタリア食堂 伊菜
- 一睡
- イデーショップ/イデーカフェバルク
- イリナイインターテインメント(株)
- いろいん
- インド料理 Laila
- ウィジョンナリワークス
- 東京ミッドタウン店
- (株)魚水産
- 碧海
- (株)エグゼクティブプロテクション
- エスカター・エスカタージャパン
- エッグセレント
- エマクラブ六本木
- エリコクラブ
- エルカフェラティノ
- エル・アミーゴ
- オービカモツアレラバー
- 六本木ヒルズ店
- 王帝商事(株)
- 吾照里
- (株)小田切ビル
- おつな寿司
- ソントエオディール
- 六本木ヒルズ店
- 男の手料理 ぶりぎや
- オフィス六・七
- 可可屋
- (株)割烹 一献
- 割烹 小田島
- カフェ カンタンテ
- カラオケフィーバー
- カラオケCITY アンサンブル
- カラオケダイニング セCOND
- カラオケふれいずBe'ツ
- からこま
- 祇園亭(ギオンテイ)
- 餃包 六本木店
- 巨牛荘 六本木店
- ギリシャレストラン スピローズ
- 銀座六覚燈 麻布十番店
- 串かつ男・男おでん
- クラブボッシュ
- セントラム六本木店
- クリストフル 六本木ヒルズ店
- クロリス
- 薫風
- 医療法人社団ケアリージェンシー
- 六本木ヒルズクリニック
- (有)ケイアンドティ・イワタ
- 六本木串焼きがんちゃん
- けやが坂薬局
- (株)源氏商会
- 幸楽苑 六本木店
- 珈琲 たちばな
- 古美術 西田
- 子安薬局
- サ・サード
- 菜鮮酒館「春夏秋冬」デ・ル・デビュー
- 薩摩おこじょ
- サルヴァトーレ フェラガモ
- フェラガモ・ジャパン(株)
- さわやか信用金庫六本木支店
- (株)三水商事
- ジュラテリアピッコ 六本木店
- ジェロニモショップ
- シックス トウキョウ
- (有)下條ビル
- シャーマンユファクチャーズ (オーツカ)
- (株)ジャスティス・サポート
- ジャボー マルゴ
- (株)住宅・都市問題研究所
- ジュエリーボックスフーロタンゴ
- ジュエルチェンジズ 六本木ヒルズ店
- 旬菜魚 藍
- (株)ジョーカー、DOGS CARE JOKER
- (株)志る角(しるかく)
- (株)ジンダイ 港営業所
- ジントイ警備(株) 田町事務所
- ズー東京
- すし 服部
- 鮎一
- 鮎 鯛良 六本木店
- 鮎 ひと
- 鈴波 東京ミッドタウン店
- スターバックスコーヒー
- 六本木ヒルズウエストウォーク店
- スターバックスコーヒー
- 六本木ヒルズウエストウォークラウンジ店
- スターバックスコーヒー
- 六本木ヒルズメトロハットハリウッドプラザ店
- スナック昭和歌謡
- スピック&スパンノール
- 六本木ヒルズ店 (株)クレームワークス
- 誠志堂たばこ店
- (株)誠志堂ワールド
- 戈六(せいろく)
- セタルモ
- セブンイレブン セントラム六本木店
- セブンイレブン 東京ミッドタウン店
- セブンイレブン 六本木3丁目店
- セブンイレブン 六本木5丁目店
- セブンイレブン 六本木7丁目店
- セブンイレブン 六本木ティーキューブ店
- セルベッサ
- 千成ら一めん 六本木店
- 総合システム企画(株)
- ソウルソニックブギー
- (株)拓新 拓新不動産
- たくみ
- (有)たにくち
- タリーズコーヒー六本木ヒルズ
- (株)ダンスオブション六本木
- たみや又兵衛 本店
- たみや又兵衛 支店
- チャリーズ・クラブ
- ((株)ヒーローズ・ミュージック)
- つけめんTETSU 六本木ヒルズ店
- ティファニー 六本木ヒルズ店
- デザインワークス ドゥ・コート
- 六本木ヒルズ店
- 鉄板焼 オータニ
- てまり
- 天ぶら 福島
- でん六
- 東京ボンパドウル 六本木店
- 東京ミッドタウンマネジメント(株)
- 東湖(株)
- 東洋英和女学院
- 栃の木
- トニーローマ 六本木店
- 土風炉 六本木店
- トモス 六本木ヒルズ店
- とも庵
- 鳥貴族 六本木東店
- 鶏三和
- ナイツスポット
- 夏茶屋
- 葉の鳥
- 日本料理 龍吟
- (一財)日本開発構想研究所
- 日本料理 菱沼
- 乃木坂 卯の刻
- (有)野沢電気商会
- (株)良品計画 無印良品 東京ミッドタウン
- パーム
- パウハウス
- 萩原商事(株)
- パティスリーサダハルアオキパリ
- 東京ミッドタウン店
- はな
- ハリウッド株式会社
- ハリウッド メイスガーデンズ
- 美人茶屋
- ヒゼ六本木
- 美ノ間
- ひろ庵
- ファーストキッチン 六本木店
- ファミリーマート 六本木七丁目
- (有)フィッシュオン
- ブーケドフランス
- フォトショップ 銀嶺
- 福島KDYビル
- ふた川
- ブラッセリーカフェ ユイット
- (有)フランセ洋装店
- フランツィスカーナ
- バーアンドグリル
- ポーネランド 六本木ヒルズ店
- 北斗歯科医院
- (有)星商事
- ポピュラスアクティブラーニングスクール
- ポンテヴェチオ
- マーガレット
- マイバー東京
- 誠
- マサトバリ 六本木ヒルズ店
- 増田屋
- まどまど
- マンションミカコ(株)
- みずほ銀行 六本木店
- (株)三井住友銀行 六本木支店
- 三井不動産(株)
- (株)三菱東京UFJ銀行 六本木支店
- みほり
- ミューゼヴァ六本木
- モティ
- 森ビル(株)
- (有)築場ビル管理
- (有)ユア六本木
- ヨカヨカ カフェ
- ヨルワコレカラ
- ライバック
- らうんじ・ぶりーず
- (株)ラクラス ドゥーズイェムクラス
- 六本木ヒルズ店
- ラビアンローズ
- ラフィネ 東京ミッドタウン店
- ラミーズ六本木
- リュネット・ゴジラ ミヤコヤ 六本木店
- (株)良品計画 無印良品 東京ミッドタウン
- リノコス ヒルズ店
- レイクムーン(有)シリウス
- レストラン Be
- レストラン メイク
- レストラン リュース
- ローゼ
- ろくまる 六本木店
- ロッソ
- 六本木駅前郵便局
- 六本木小川
- 六本木共同ビル(株)
- 六本木 串とろ
- 六本木 ケントス
- 六本木 てんぷら 味覚
- 六本木 とんちゃん
- 六本木 なぶら
- 六本木 南蛮亭
- 六本木 萩原ビル
- 六本木 左馬
- 六本木 ヒルズ フレーバードレッサー
- 六本木 ヒルズ 郵便局
- 六本木 麻衣
- 六本木 アミアミビル
- 六本木 海里
- 六本木 ゆうえんち
- ワイス・ワイス トウールス
- ワイン&バービアーノール
- わくわく企画 わくわく座

港区麻布地区総合支所だより

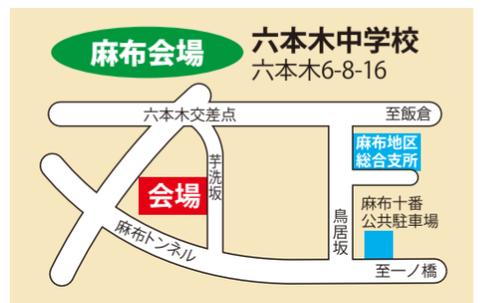


平成26年度港区総合防災訓練(麻布会場)を実施します ~どなたでも参加可能です~

日時 平成26年10月5日(日)午前9時30分~11時30分(小雨決行)

場所 港区立六本木中学校校庭及び体育館

※当日参加された方には防災関連の記念品をプレゼントします。(数量に限りがあります。)



今年度の新規取組

外国人向け防災訓練ツアー

外国人の皆さんにも多く参加していただくため、会場内の訓練に英語の通訳者が同行するツアーを行います。

防災アドバイザー制度紹介コーナー

港区で防災アドバイザー登録をしている事業者を招き、制度の説明や、成果品の展示を行います。他にもたくさんの訓練を実施します。

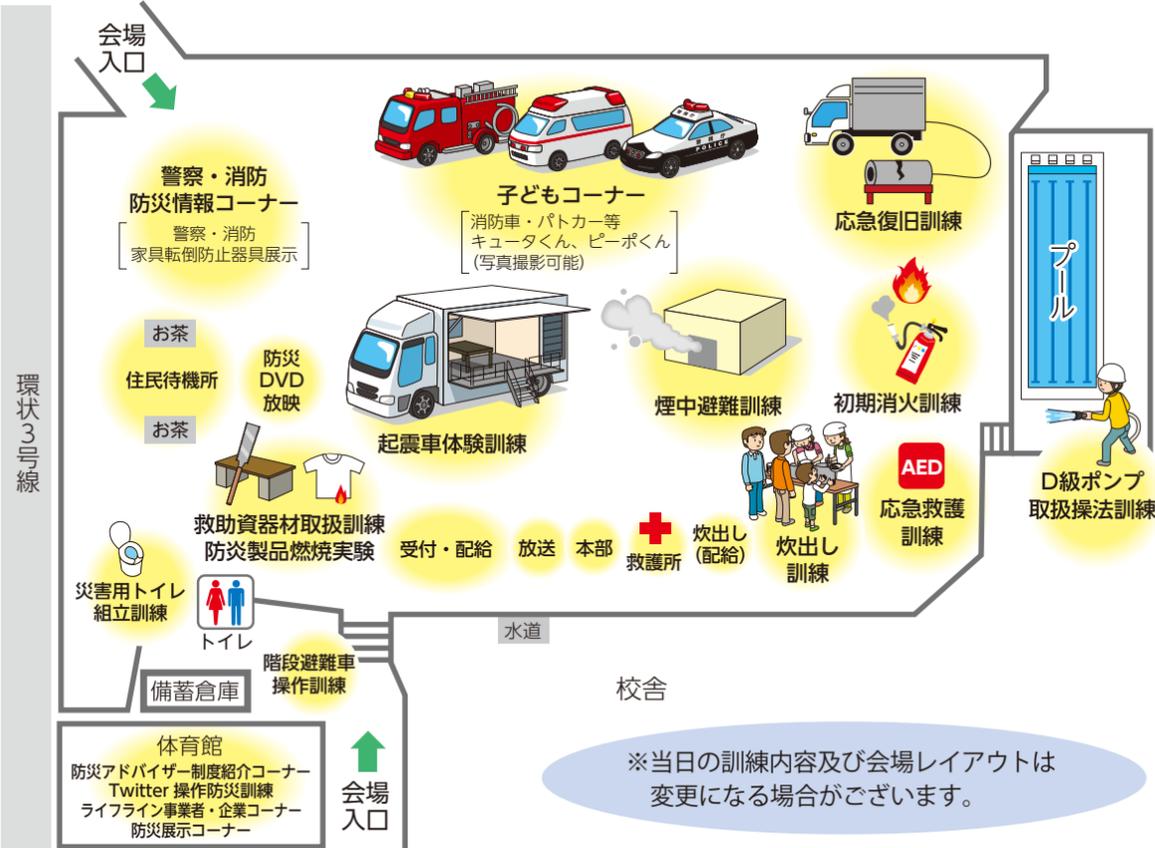
「自助」意識の向上を目指そう!

~災害時には、地域での協力に加えて、個人の備えも必要です~

私たちの住む日本の国土は、世界の他の国に比べて、地震・台風などの自然災害が起こりやすく、今までも度々大きな被害に見舞われています。生じた災害の規模が大きければ大きいほど公的支援の機能は減衰します。その状況において重要になるのは、住民一人ひとりが防災に関する正しい知識を身につけ、適切な行動をとることです。

今回の総合防災訓練では、今後30年以内に70%の確率で発生すると言われているM7クラスの「首都直下地震」に被災して、多くの建物および人的被害が出たことを想定し、さまざまな訓練を行います。訓練に参加していただくことで、一人ひとりの防災意識の向上や「被災時に的確な行動をとり、自分が何をすべきか」について考える良い機会になります。大規模災害から自分や家族の命、地域を守るためにも、ぜひ港区総合防災訓練(麻布会場)にご参加ください。

お問合せ/麻布地区総合支所協働推進課協働推進係
電話/03-5114-8802



※当日の訓練内容及び会場レイアウトは変更になる場合がございます。

外国人の皆さんの参加も募集しています!

多くの外国人が暮らす麻布地区では、誰もが安全で安心に暮らせるまちづくりを目指しています。当日は英語の通訳者がつき、会場内の訓練を案内します。外国人の皆さんも、いざという時に備えて地域の皆さんと防災に関する情報や知識を共有してみませんか?

応募方法 (1)氏名(2)住所(3)電話番号(4)日本語対応の可否(5)その他特記事項を電話又はファックスでお申込みください。

電話/みなとコール 03-5472-3710

平成26年9月2日(火)から9月30日(火)まで(受付時間:午前9時~午後5時)

ファックス/麻布地区総合支所協働推進課 03-3583-3782

新たな港区基本計画・麻布地区版基本計画書の策定について

麻布地区総合支所では、現在新たな港区基本計画・麻布地区版計画書【平成27年度~平成32年度】(以下、「地区版計画書」という。)の策定を進めています。

地区版計画書は、麻布地区の特性を活かしながら、地域の課題を解決し、地域の魅力をより一層高めるための取組みを盛り込んだ計画です。

地区版計画書の策定にあたっては、公募等により参加いただいた区民参画組織「麻布を語る会 麻布地区版基本計画策定分科会」(以下、「区民参画組織」という。)の皆さんからいただいた「港区基本計画・麻布地区版計画書策定に向けた麻布地区からの提言書」の反映に最大限努めていきます。

また、計画書素案の段階においても区民参画組織の方々をはじめ、住民説明会や区民意見募集などを通じてご意見、ご提案をいただき計画書の策定を進めていきます。



計画書策定スケジュール(予定)

日程	項目
平成26年4月~10月	提言の反映 計画書原案作成
平成26年10月下旬	計画書素案の作成
平成26年11月中旬	◆住民説明会(※1)
平成26年11月~12月	◆区民意見募集
平成27年1月	計画書の決定

※1 住民説明会:ありすいきいきプラザ・麻布地区総合支所での開催を予定しています。

◆ 住民説明会及び区民意見募集の詳細については、後日「広報みなと」にてお知らせします。

ザ・AZABUへのご意見・ご要望をお寄せください

ご住所・氏名・職業(学校名)・電話番号・ご意見・ご要望(日本語又は英語、字数・様式自由)を書いて、直接又は郵送・ファックスで、〒106-8515 港区六本木5-16-45 麻布地区総合支所 協働推進課へ。

●電話/03-5114-8802 ●FAX/03-3583-3782

編集委員を募集しています

地域情報紙「ザ・AZABU」はホームページからご覧になれます。



「ザ・AZABU」は英語版も発行しています。

ザ・AZABU

●配布設置場所のご案内
六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書館、南麻布・ありす・麻布・西麻布・飯倉の各いきいきプラザ、麻布区民センター、麻布地区総合支所等
●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

Chief 田中亜紀
Sub Chief 高柳由紀子
Staff 出石供子 寺尾周祐
大澤佳枝 満木葉子
小倉里枝子 森明
折戸桂子 山下良蔵
折戸桂子 芝崎義則
田中康寛
Junior Staff 岩淵二千乃 熊坂瑠家
金澤りん

編集後記

第14号より取材や記事執筆に関わり始めましたが、麻布は国際色豊かな新旧さまざまな魅力に溢れているので、毎回新鮮です。取材で知った江戸の名残を留める坂に惹かれて再訪したり、大使館取材で学んだ国の出来事に敏感になったり、編集会議でのやりとりから企画のヒントを得たりと、触発されています。読者の皆様にも少しでも本紙がお役に立てれば幸いです。(大澤佳枝)

「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽に問合せください。年中無休/午前7:00~午後11:00 ※英語での対応もいたします。

電話/03-5472-3710 FAX/03-5777-8752
Eメール/info@minato.call-center.jp

“Minato Call” information service
Minato call is a new city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.
Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752; E-mail: info@minato.call-center.jp